

各位

会社名 ログリー株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉永 浩和
(コード番号: 6579 東証グロース)
問合せ先 取締役 岸本 雅久
(TEL. 03-6277-5617)
(URL. <https://corp.logly.co.jp/>)

通期業績予想と連結実績値の差異並びに特別損失（固定資産の減損損失）に関するお知らせ

2023年8月9日に公表致しました、「通期業績予想の修正に関するお知らせ」における2024年3月期通期の業績予想値と本日公表の連結実績値において差異が生じ、また、固定資産の減損損失を特別損失として計上しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期の業績予想値と連結実績値の差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想値 (A)	百万円 2,237	百万円 △53	百万円 △52	百万円 △77	円 銭 11.37
実績値 (B)	2,054	△2	△2	△46	△12.53
増減額 (B-A)	△183	51	49	30	
増減率 (%)	△8.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	2,690	130	131	126	34.57

2. 差異の理由

売上高につきましては、CPC（広告クリック単価）とインプレッション数（広告表示回数）が想定以上に減退し、前回発表予想を183百万円下回りました。なお、売上原価に関しては、媒体仕入率の改善を進めるとともに、円安の環境下において、売上高に対するAWS費用をエンジニアリング力で抑制し、また、売上高減退に伴い、早期に財務リストラチャリングを実行し、販管費及び一般管理費の削減がさらに進んだことにより、営業利益が前回発表予想を51百万円、経常利益が49百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が30百万円、それぞれ上回る結果となりました。

3. 特別損失（減損損失）の計上について

下記のとおり、本社を移転することと決定しており、本社移転に伴い、現本社に所有する固定資産（建物、建物付属設備及び工具器具備品）について、減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく回収可能性を検討した結果、減損損失 20,865 千円を計上しました。

本社移転の詳細

(a) 移転先（新本社所在地）

東京都渋谷区恵比寿一丁目 1 9 番 1 5 号 ウノサワ東急ビル 7F

(b) 移転時期

2024 年 6 月（予定）

(c) 移転理由

業績予想値と本日公表の連結実績値の差異でもお伝えしたとおり、2024 年 3 月期通期の売上高の減少がもたらす営業利益の悪化を改善するために、財務リストラクチャリングを行うこととしました。具体的には、現在の人員数や勤務形態などに応じた執務スペースまで規模を縮小し、2025 年 3 月期下期に向けて、営業利益の改善を目的としております。

(d) その他

現本社所在地と移転先は同一地区内にあるため、本社移転に伴う定款変更はありません。

4. 特別損失（固定資産の減損損失）の計上に関する、業績に与える影響について

特別損失（固定資産の減損損失）の計上につきましては、本日公表の「2024 年 3 月期決算短信[日本基準]（連結）」に反映しております。

以上